

氷川町の自然について学ぶ

8月6日(日)、「オータム交竜会」で氷川町の自然について発表するチームが、松本橋付近に午前6時30分に集合し、魚釣りや川の生き物の観察をしました。中学生6人は魚釣り初体験で、吉見CS委員から釣り方を習い挑戦しましたが、魚の姿は見えるものの釣り上げることはできませんでした。氷川に住む「ぎろっちょ」やエビ、メダカなどたくさんの生き物を見つけ、きれいな氷川を体感しました。まだまだ他の場所にも行き、小学生に「生き物がたくさん生息する氷川はとてもきれいではあるが、危険も隣り合わせなので、そこもわかりやすく伝えたい。」と話していました。



氷川町の農産物について学ぶ



8月21日(月)、「オータム交竜会」で氷川町の農産物について発表するチームが、南鹿野地区の苺農家宮村さん宅を訪ね、「和鹿島いちご」について学びました。宮村さんの家では高設栽培や研修生の受け入れもされ、知恵や工夫を活かし、おいしい苺を作られています。中学生は、仕事の大変さを感じながら、たくさんのことを学び、小学2年生にもわかりやすく伝え方なども工夫します。お話しいただいた宮村さんも当日中学生がどのような発表をするか楽しみにされていました。

地域を盛りあげる子どもの活躍に向け、子ども・先生・保護者・地域が一致団結！

10月13日(金)に行われる三神宮例大祭に向け、関わる全ての人々が共通理解し、一緒に取り組めるよう、まずCS委員が講話を行います。村山委員が、小中学生をはじめ、先生方、単位子ども会の会長や保護者それぞれに、三神宮例大祭の歴史や地域の人々の思いなどを伝えました。今年、以前のような活気あふれる祭りに参画するため、子どもたちはもちろん、みんなが祭りを盛り上げる当事者として子どもたちの活躍を応援する体制をつくっていきます。

8月22日(火)には、氷川中学校で発足式が行われました。早速、飾馬(ポニー)奉納実行委員会に生徒会も参加し、決意表明のあと、どのように取り組んでいくかを話し合いました。会議や準備を重ねるごとに関わる者全てが一致団結して取り組み、子どもたちが自信をもって地域を盛り上げる取組に参画してくれることを楽しみにしています。



子どもたちの活躍が町を元気づけます。



「地域の人に笑顔を届けたい！」